

柏原市民文化センター長寿命化改修工事 基本設計

2025.1.24

基本設計図書 概要版

1章 計画概要	1-1. 設計コンセプト	02
2章 建築計画	2-1. 配置計画	03
	2-2. 平面計画	04
	2-3. 立面計画	06
	2-4. 断面計画	07
	2-5. 書架計画	08
	2-6. 事業スケジュール・仮設計画	09
	2-7. パース	10

1-1. 設計コンセプト

● 市民文化センターの整備方針に基づいた基本設計のコンセプト

地域（まち）に開かれる生涯教育・文化情報の拠点

本計画地は都市拠点に位置しており、付近にはＪＲ柏原駅、近鉄堅下駅、市立小中学校や保育所（園）が点在する利便性の高い立地となっています。本建物では、この立地を活かした地域の活性化を図るため、周辺エリアの将来を見据え、周辺環境を踏まえた「地域（まち）に開かれる生涯学習・文化情報の拠点」づくりを実現します。

建物は上市公園側に向けて開放的な平面計画とし、上市公園と一体の賑わい空間を設けることで、地域（まち）の賑わいを創出します。

また、公園側に向けて新たな出入口を設け、北側の幹線道路からの通行人を積極的に呼び込むことで、施設利用者数や利用者層の拡大を図ります。

耐用年数を超えて使用できる建物の実現

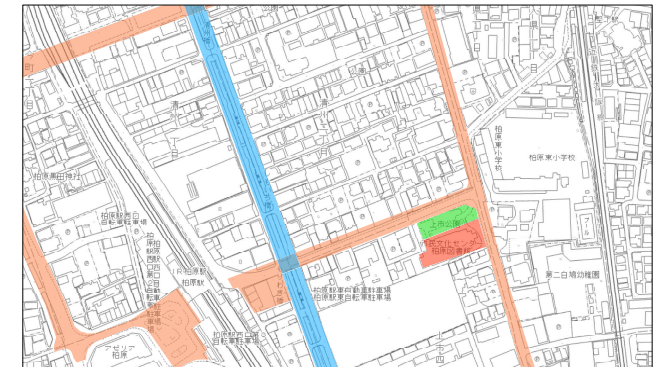
現在の市民文化センターは昭和53年に建築され、築46年が経過しており、躯体コンクリートの中硬化や漏水の発生、空調やエレベーターなどの各種設備の老朽化が進んでいます。また、昭和56年（1981年）以前の旧耐震基準で建設された建物であることから、現行の耐震基準に適合した整備を行う必要があり、現在のサービスを継続していく上では耐震性の確保を踏まえた大規模改修が必要です。

本基本設計では市の財政状況を鑑み、建物を健全な状態に保つための予防的な改修工事を実施し、致命的な損傷の発現を事前に防ぐことで、効率的・効果的に施設の長寿命化を図ります。



● 敷地概要

所在地	：大阪府柏原市上市4丁目1-27	日影規制	：3時間、5時間
敷地面積	：3,430.213㎡	前面道路	：北側（42-1-1）
用途地域	：市街化区域 第一種住居地域		西側（42-1-1）
防火地域	：準防火地域		東側（42-1-1、都市計画道路 上市法善寺線）
許容容積率	：200%	道路斜線	：1/1.25
許容建ぺい率	：60%	隣地斜線	：20m+1/1.25
高度地区	：第三種高度地区		



● 改修後施設概要

規模	：4階建て		
構造	：RC造、一部鉄骨造	容積率	：92.57%
建築面積	：1267.46㎡	最高高さ	：19.90m
建蔽率	：36.95%	駐車台数	：利用者9台（内身障者用5台） 公用車5台
各階床面積		駐輪台数	：利用者75台（内バイク12台） 職員用駐輪10台
延床面積	：3174.14㎡		
1階床面積	既存 908.36㎡	増築	277.01㎡
2階床面積	既存 755.39㎡	増築	48.41㎡
3階床面積	既存 884.56㎡	増築	48.41㎡
4階床面積	既存 252.00㎡		

● 主な室名・規模

	既存面積		改修後面積	
	室名	面積	室名	面積
1階	図書館	461m ²	図書館	589m ²
	閉架書庫	72m ²	閉架書庫	72m ²
	図書館事務室	46m ²	図書館・公民館事務室	72m ²
	学習室	60m ²	ロビー	60m ²
			エントランス	51m ²
2階	多目的室	72m ²	吹抜	
	公民館事務所	51m ²	多目的室1	62m ²
	講座室	62m ²	多目的室2	62m ²
	実習室	97m ²	実習室1	67m ²
			実習室2	58m ²
	倉庫	68m ²	多目的室3	53m ²
	調理室	87m ²	調理室	88m ²
	和室1	21m ²	和室	61m ²
	和室2	14m ²		
	和室3	16m ²		
3階	展示室	87m ²	多目的室4	87m ²
	会議室	58m ²	多目的室5	58m ²
	講堂	353m ²	大会議室	382m ²

2-1. 配置計画

● 配置計画

計画地は上市公園に隣接しており、付近にはJR柏原駅、近鉄堅下駅、市立小学校や保育所（園）が点在する利便性の高い立地となっているため、通行人の往来が多い周辺環境となっています。

今回、この周辺環境を踏まえて建物北側に新たなメインエントランスを設け、北側の幹線道路や上市公園からの利用者動線を確保します。これにより従来と比べてより建物へアクセスしやすい配置計画とすることで、利便性の向上や利用者の拡充を図ります。

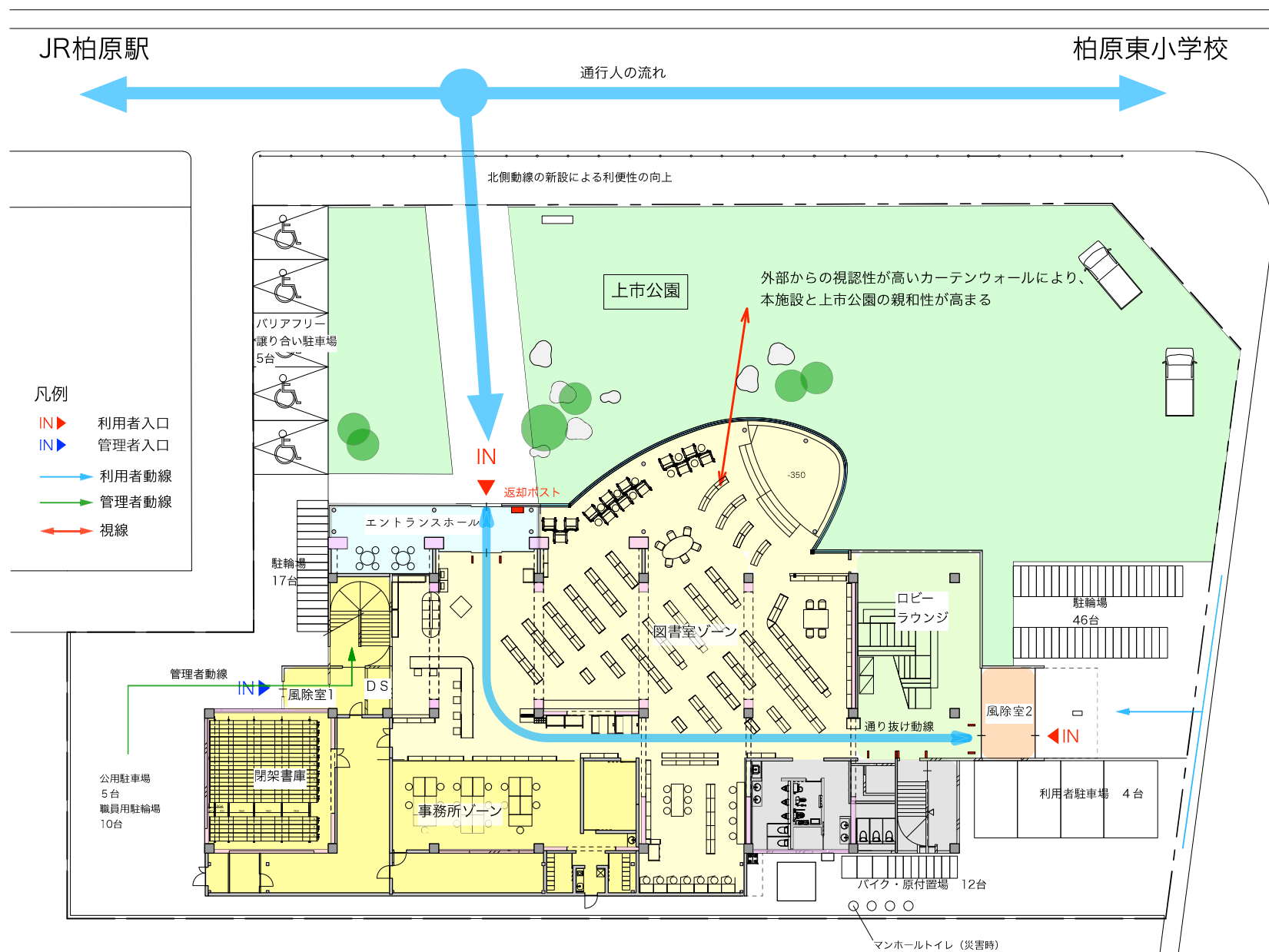
また、北側の上市公園に向けて建物を増築し、外部からの視認性が高いカーテンウォールを採用することで、本施設と上市公園との親和性を高めるとともに、蔵書量やゆとりのある閲覧スペースを確保します。利用者の出入口は北側と東側に設けることで各方面からのアクセスや建物の通り抜けが可能になり、利用者の利便性を向上させる計画とします。一方、管理者出入口は西側に配置することで、利用者動線と明確に分離を図り、機材搬入時における利用者の安全性を確保します。

● 駐車場計画

施設のバリアフリー化を目指し、バリアフリー・譲り合い駐車場を従来から拡大整備を行うと共に、駐輪スペースを増やします。

駐車台数：利用者9台
(内身障者用5台)

駐輪台数：利用者75台
(内バイク・原付12台)



2-2. 平面計画

1階

凡例

■ BDSを示す

■ 閲覧室

■ 閲覧室・イベント

■ 通路

■ 事務所・倉庫等

■ エントランスホール

■ トイレ、階段、EV

— 通り抜け動線を示す

→ 出入口を示す

■ 静 サイレントエリア

■ 飲食 飲食可

■ 防音 防音仕様

1 エントランスホール

公園利用者や北側の幹線道路の通行人など、市民文化センター利用者以外にも気軽に施設を利用いただけるように、メイン出入口は、飲食・休憩スペースを兼ね、公園からの視認性が高くアクセスしやすい北側に設けます。

また、建物東側に通り抜けができる計画とすることで、通行人が気軽に立ち寄れる動線計画とします。

2 総合カウンター

メイン入口の近くに、貸本・貸室・講座申込等の受付ができる総合カウンターを配置し、各種サービスの利便性を向上させます。

3 図書室（開架書架）

図書室内のゾーニングは、図書閲覧などが行えるエリアと、静かに学習や資料閲覧などが行える南側のサイレントエリアに分けることで、空間は一体ながら静と動の機能を明確に分けています。

4 ロビーラウンジ

吹き抜けや公園に面した窓際の席、階段上のベンチ席などを設け、様々な過ごし方のできるラウンジを計画します。ラウンジ以外にも、常設・企画展示やイベント等のフレキシブルに利用いただける空間とすることで生涯学習・文化情報の発信機能を担います。

また、吹き抜け部分には2階の公民館への直通階段を配置し、図書館と公民館の一体性と連続性を感じることができる空間づくりを行います。

5 閉架書庫

図書館としての基本機能である蔵書数を確保するため、閉架書庫を設置します。

6 児童閲覧室

北側に開かれた明るく開放的な空間で、子どもが座ったり寝転んだりしながらのびのびと読書を楽しむことができるエリアを計画します。



★ 児童閲覧室パース



★ ブラウジングパース

[1F平面図 S=1/300]

2-2. 平面計画

2階

① 実習室

流し台を備え、机を配置した上で、20名ほどが同時利用できるようにします。

② 多目的室

主に講座開催等の用途のほか、誰もが使えるフリースペースとしての利用も可能とします。

③ 和室

主に茶道教室等の用途で利用します。
茶室として活用できる水屋や炉スペースを設け、障子にはワーロンなどの強化紙を採用します。

④ 調理室

主に料理教室等の用途で利用します。
バリアフリー対応の流し台、調理台、調理器具などを備えます。

凡例

通路

事務所、倉庫等

貸室

トイレ、階段、EV



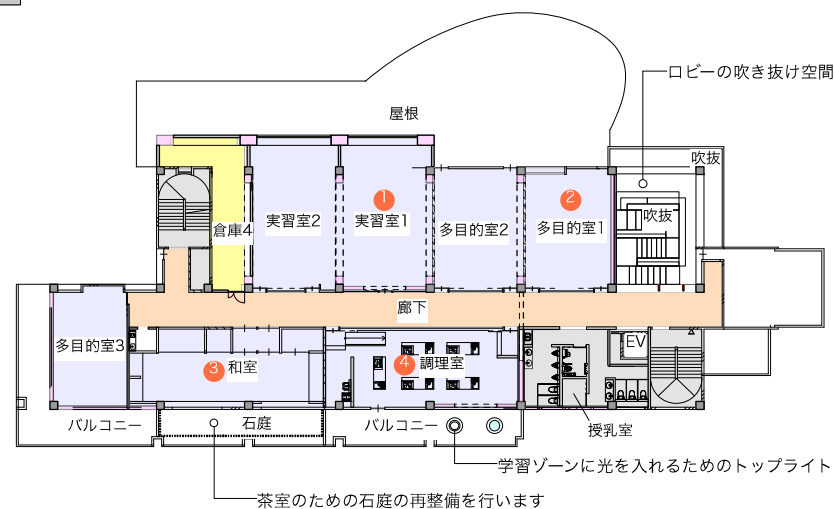
サイレントエリア



飲食可



防音仕様



【2F平面図 S=1/400】

3階

① 大会議室

音響設備、巻き上げスクリーン、壁面鏡、遮音性能を備えることで、音楽活動のほかに、ダンス系活動にも対応できるようにします。

② 多目的室

主に貸し会議室や、音楽活動等の利用を目的とします。
音響設備、壁面鏡、遮音性能を備えることで、音楽活動のほかに、ダンス系活動にも対応できるようにします。

遮音性能

遮音等級D-50相当

建具の遮音等級T-2

軽量衝撃音 LL-45

重量衝撃音 LH-45

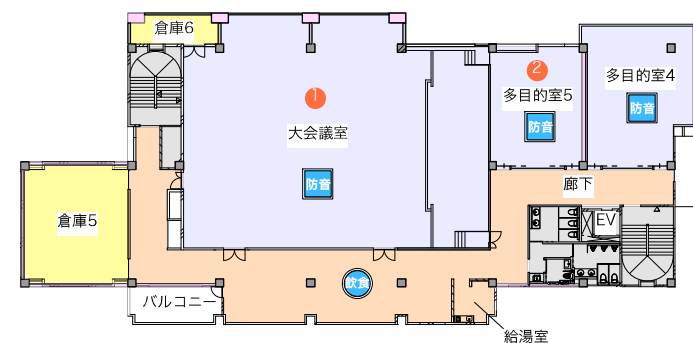
とします。

遮音等級	ピアノ・ステレオ等の大きい音	TV、会話などの一般発生音
D-65	通常では聞こえない	聞こえない
D-60	ほとんど聞こえない	聞こえない
D-55	かすかに聞こえる	通常では聞こえない
D-50	小さく聞こえる	ほとんど聞こえない
D-45	かなり聞こえる	かすかに聞こえる
D-40	曲がはっきりわかる	小さく聞こえる
D-35	よく聞こえる	かなり聞こえる
D-30	大変よく聞こえる	話の内容がわかる
D-25	うるさい	はっきり内容がわかる
D-20	かなりうるさい	よく聞こえる
D-15	大変うるさい	つつめ状態
備考	音源から1mで90dB前後を想定	音源から1mで75dB前後を想定

【遮音等級と生活実感との対応：建築環境工学】

遮音等級	L-30	L-35	L-40	L-45	L-50
人の走り回り、飛び跳ねなど	・通常ではまず聞こえない	・ほとんど聞こえない	・かすかに聞こえるが、遠くから聞こえる感じ	・聞こえるが、意識することはあまりない	・小さく聞こえる
椅子の移動音、物の落下音など	・聞こえない	・通常ではまず聞こえない	・ほとんど聞こえない	・小さく聞こえる	・聞こえる
生活実感、プライバシーの確保	・上段の気配を全く感じない	・上段の気配を感じることもある	・上段で物音がかすかにする程度・気配は感じるが気にはならない	・上段の生活が多少意識される状態・スプーンを落とすときなどに聞こえる・大きな動きはわかる	・上段の生活状況が意識される・椅子を引きずる音は聞こえる・歩行などがわかる

【遮音性能基準と設計指針】



【3F平面図 S=1/400】

2-3. 立面計画

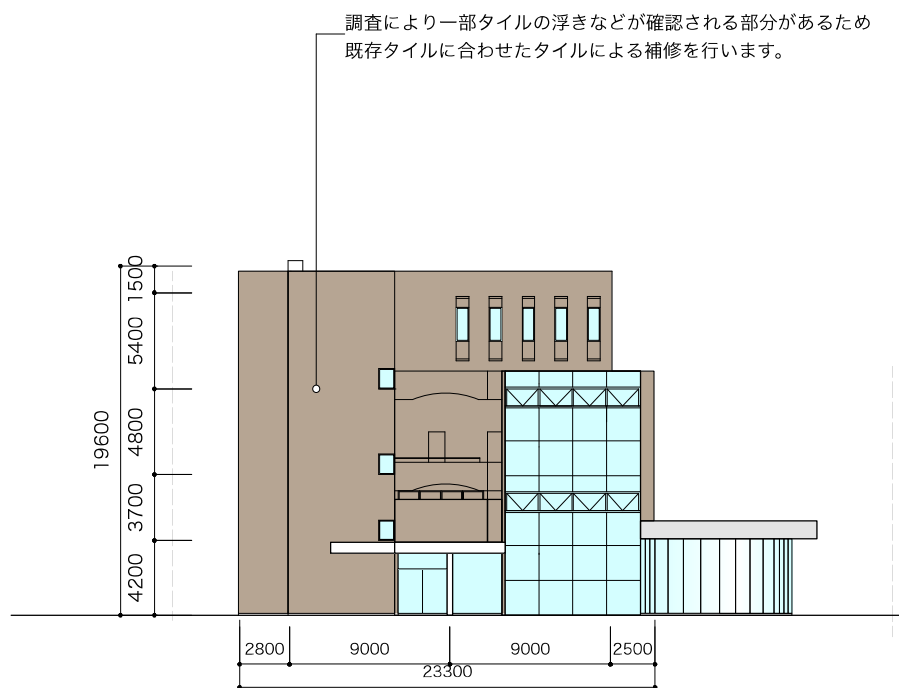
● 外装計画の考え方

市民に長年親しまれてきた既存の重厚感のあるレンガ調のイメージを残しつつ、新しい変化として増築部分を設けることで外観のリニューアルを図り、新たな魅力を生み出します。

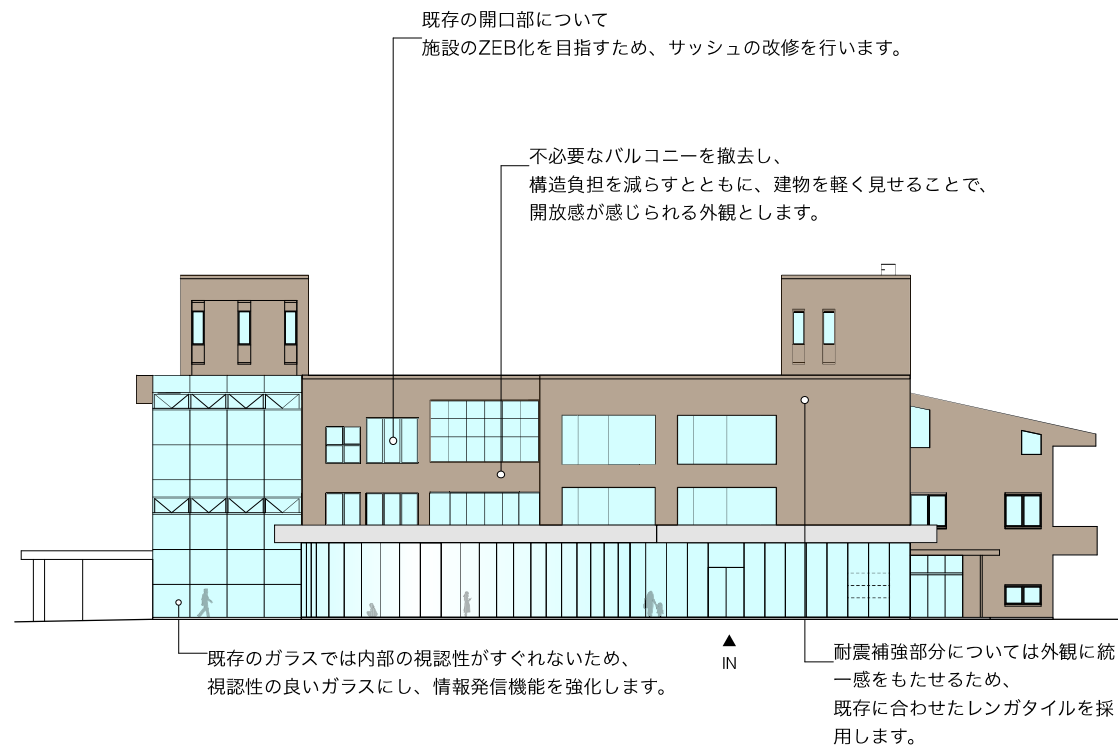
また、計画地は都市拠点に位置しており、付近にはＪＲ柏原駅、近鉄堅下駅、市立小中学校や保育所（園）が点在し、人通りの多い立地であることを踏まえ、周辺への情報発信機能を強化します。

建物自体が一つの情報発信源となるよう、外部からの視認性が高いカーテンウォールを採用します。

建物内部での市民活動の様子や図書館での過ごし方を、隣接している公園をはじめとした周囲に発信することで、様々な方の利用を促す外装計画とします。



東立面図



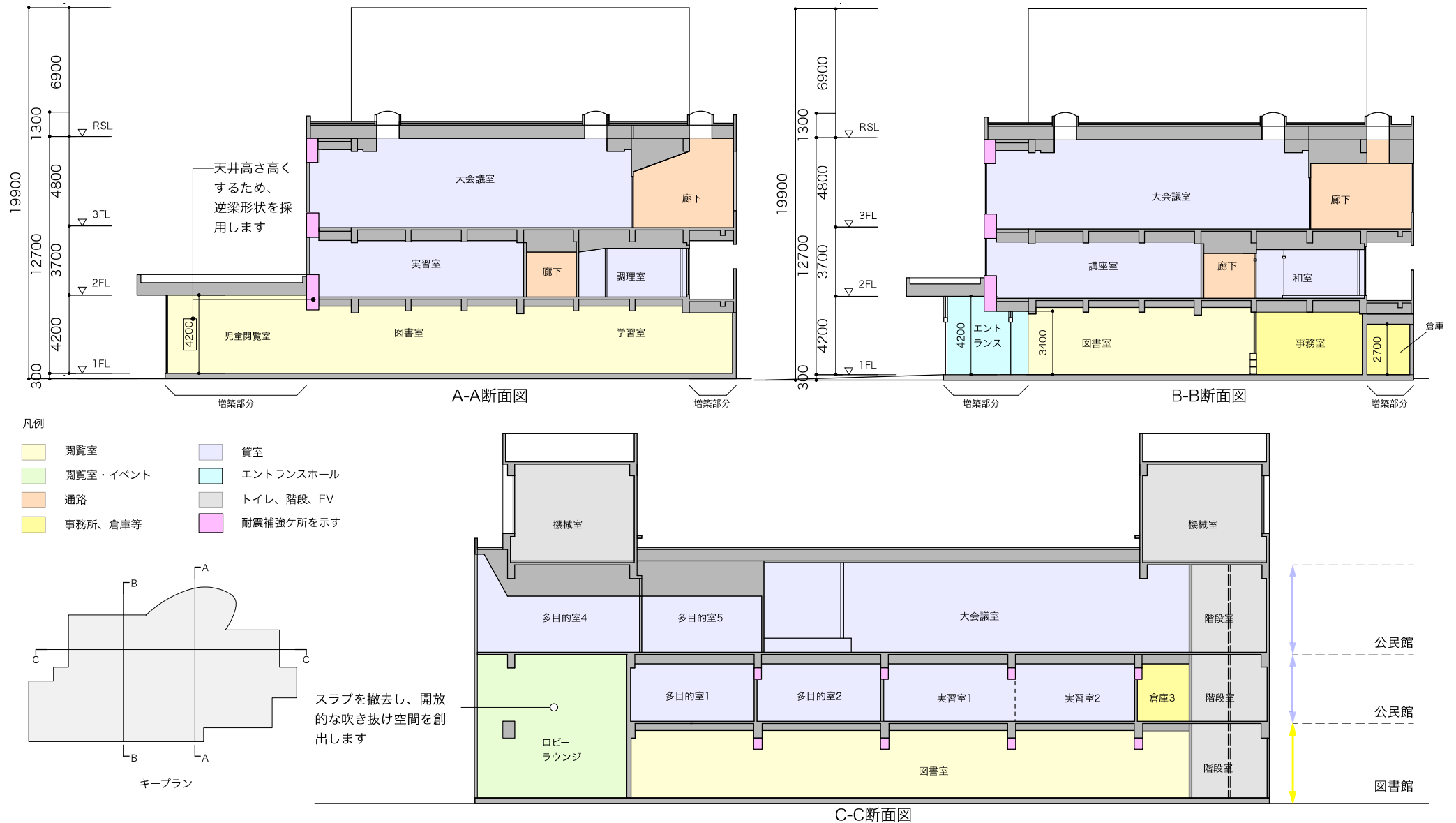
北立面図

2-4. 断面計画

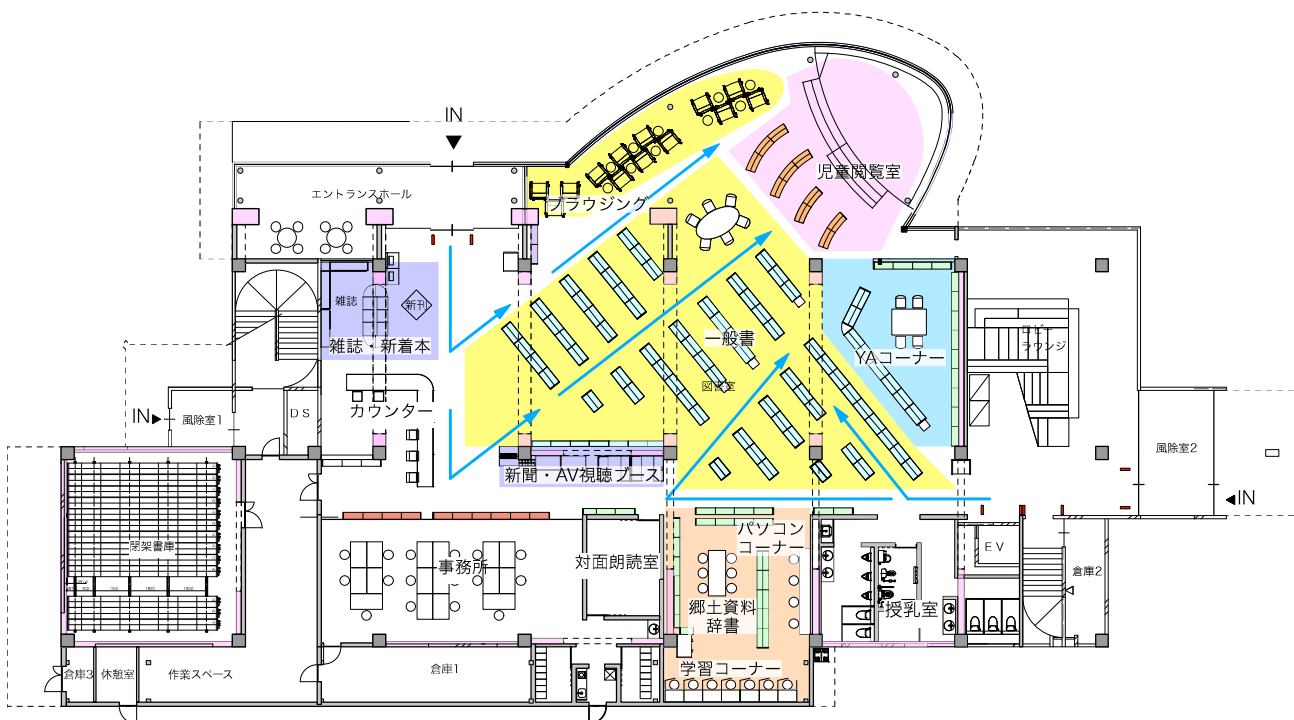
● 断面計画の考え方

1階に図書館機能、2・3階に公民館機能のある本施設に対して、吹抜け空間を用いることで、上下階の一体感をもたせます。

エントランスホール、児童閲覧スペースなどの増築部分は、天井高さを4.2m確保することで、開放感をつくるとともに、より公園に開かれた施設となる印象を与えます。



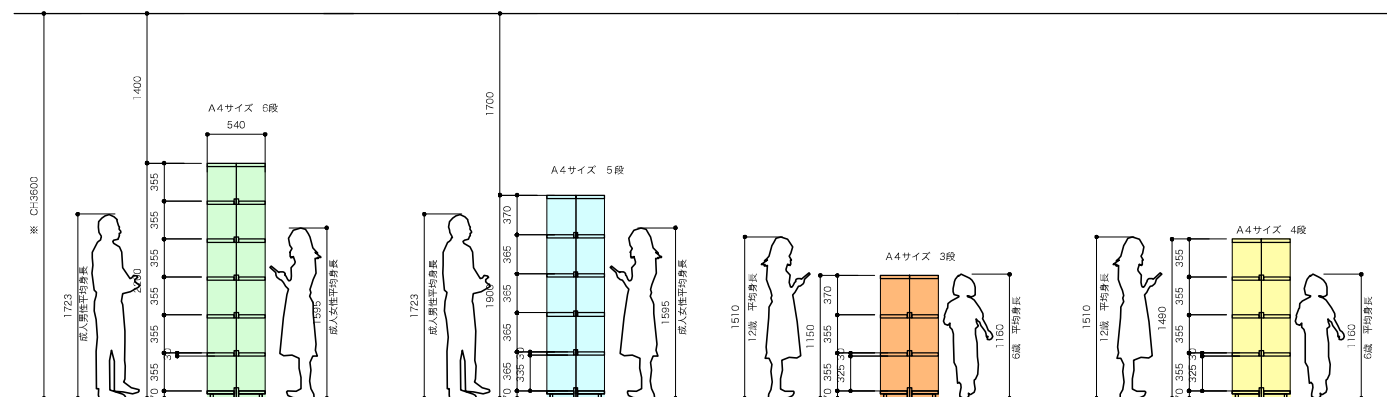
2-5. 書架計画



内観パース：エントランスより

凡例

一般書架	児童書架
■ 6段書架	■ 4段書架
■ 5段書架	■ 3段書架
■ 4段書架	
■ 3段書架	



● 目標蔵書数について

市民文化センターの今回の改修での蔵書数は既存の蔵書数の推移から、蔵書数105,000冊（開架書庫45,000冊、閉架書庫60,000冊）を目標値としています。

この目標値に近い蔵書数を確保するために、書架の数量と棚数を検討しました。

● 想定蔵書数について

左図の書架計画により、想定蔵書数を算出し、おおよそ目標蔵書数に近い数値となることを確認しました。

書架の高さは書架による圧迫感がないように4段階の高さ設定を行い、一般書架エリアの中央部分には5段の書架を、壁面には6段の書架を配置することで、圧迫感のない開架書架スペースとなるよう計画しています。

ブラウジングや児童閲覧室については3段～4段の書架を利用し、見通しのきくレイアウトとしています。

● 本棚の配置について

外の公園に向けて抜ける動線と視線誘導を意識した配置としています。

● 本棚の仕様について

素材：メラミン化粧板

棚板：可動棚

耐震性能：棚の落下防止及び本棚転倒防止のため、床にアンカー固定を行います。

2-7. パース

